

氏名	松浦 秀治 MATSU'URA Shuji
所属 職名 学位 専門分野	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 教授 理学博士（1982 東京大学） 自然人類学（特に人類進化学、先史学、年代学）
URL	http://www.eng.ocha.ac.jp/anthropol/index.htm
E-mail	matsura.shuji@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

人類の起源と進化
化石骨
年代推定
日本の旧石器時代人
ジャワ原人

human origins and evolution
fossil bone
dating methods
Palaeolithic homind remains of Japan
fossil hominids of Java

主要業績

Kondo-Nakamura, M., K. Fukui, S. Matsu'ura, M. Kondo and K. Iwadate (2010) Single tooth tells us the date of birth. International Journal of Legal Medicine, Published online 16 October 2010 (DOI: 10.1007/s00414-010-0521-x).

松浦秀治 (2010) 人類最初の出アフリカ (Out of Africa) と東方アジアへの拡散問題. 第四紀研究, Vol.49, pp.293-298.

研究内容 / Research Pursuits

＜主要研究テーマ＞ 1. 人類の起源と進化：特にその年代論、年代・環境的背景 2. 化石骨の年代測定・判定学 3. ジャワ原人や日本の旧石器時代人類の編年および変遷史 ＜研究目的＞ 大きな目的は「ヒトとはどういう生物か」を知ることである。それには多面的・多角的な調査が必要となるが、私の場合は、地球における人類の起源と進化という面に興味を持ってアプローチしている。人類の進化を研究するには、進化の道筋をたどる具体的な資料であり、様々な生命・生命体情報の宝庫として「化石となった生」とも言える古人骨を対象とした研究が不可欠である。そうした研究においては、資料の「古さを特定し、編年をおこなう」ことは「古人骨からのわかること」への基盤情報をなす。以上の観点と興味から、主に上記の3つのテーマで研究をおこなっている。

The main purpose of my research is to understand the uniqueness of our species, "why a human", and there should be diversified and many-faceted attacks to this problem. I have been approaching this problem from the palaeoanthropological and evolutionary

■ 教育内容 / Educational Pursuits

以下の授業等を担当するとともに、主に自然人類学に関する研究を指導した。＜学部＞生物人類学／自然人類学（全学共通科目）ヒトと文化／生物人間論（生活科学部共通科目）人類進化史（生活科学部専門科目）人間・環境科学実験実習（生活科学部専門科目）人間・環境科学演習（生活科学部専門科目）人間・環境科学輪講?及び?（生活科学部専門科目）＜大学院＞文化財科学特論（ライフサイエンス専攻）総合生命科学（大学院共通科目）

In the school year of 2009, I supervised graduation studies mainly on physical anthropology, and instructed classes such as introduction to biological/physical anthropology, general human biology, human evolution, experiment and training on human-environ

■ 研究計画

2010年度に得た主な日本学術振興会科学研究費補助金には、基盤(B)「ジャワ原人の年代論争の終結へ向けて」（代表者）がある。本研究は、ジャワ原人化石に関する年代論争の終結に向けて、2000年からの地質年代学的国際共同調査の成果を踏まえ、異なる年代観が錯綜する現状を検証しつつ、確かな基盤を持った編年モデルの再構築を行うものであり、東方アジアにおける人類進化史の解明を目指すものである。また、日本人の起源に大きく関与する縄文時代人の起源と形成史について考察を進めるため、日本の旧石器時代人骨の再評価と編年の再検討を行っているが、特に沖縄の人類化石に関する共同研究を発展させる予定である。＜共同研究可能テーマ＞ 1：化石骨の年代測定に関する研究

■ メッセージ

受験準備としては「理系パターン」「文系パターン」への対処は必要であるが、そもそも理系・文系というのは受験区分であり、学問の区分ではない。自分の目指す学問にそうしたレッテルを貼る必要は全くない。入学後は、「自分は理系」「自分は文系」などという枠を自らにはめることなく、自分は何に興味があり、何を解決したいのかという原点を大切に考えて、必要な知識と技術を身につけてほしいと思う。